

長崎県内の女性の身体的不調に関する調査

— (その1) 地域差について —

大石 和代¹ 宮市 和子¹ 加藤奈智子¹ 古田 真司²

要 旨 長崎県内に住む20代から40代を中心とした健康婦人1,113人を対象に、「冷え性」の自覚や、自律神経系の症状を中心とした不定愁訴および月経周期にともなう不定愁訴等について自記式アンケート（無記名）を行った。対象を離島地区、長崎市内、長崎以外の市、郡部の4地区に区分し、居住地域別に結果を比較したところ、離島地区では、胃腸系愁訴を中心とした自律神経的な愁訴が多く、長崎市内では、全身性愁訴を中心とした自律神経的な愁訴と月経中の不調が多いという特徴がみられた。

長崎大医療技短大紀6:1-8, 1992

Key words : 長崎県, 健康婦人, 不定愁訴, 地域格差

I 緒 言

現代は女性の社会進出も著しく、まさに女性の時代到来といっても過言ではない。しかし一方では、女性特有の身体の不調に悩まされている女性がかかなりいると言われている。我々はこれまでに、20代女性の月経困難症や月経前緊張症について検討し、これらの訴えが、とくに働く女性に多くみられることをすでに報告している^{1,2)}。

一方、自律神経的な不定愁訴や、いわゆる「冷え性」などを訴える女性が多いことはよく知られているが、これらは、背景に重大な疾病がない限り治療の対象とはならず、ほとんどその実態などが検討されていない。

そこで、これらの女性特有の不定愁訴を総

合的に考えるため、女性の自律神経的な訴えや月経等について調査し、長崎県内の健康婦人の身体的不調について検討した。

II 研究方法

長崎県下の地域婦人連絡協議会およびPTAを通じて、県下全体を偏りなく対象とするように18地区を抽出し、各地域の婦人会およびPTAを通してアンケートを配布収集した。主に20代から40代を中心とした健康な地域婦人を対象に、いわゆる「冷え性」の自覚や、自律神経的な症状を中心とした不定愁訴の有無、月経周期、さらには、月経前あるいは月経中の症状や仕事の内容、飲酒・喫煙の頻度、勤務の形態と就労に関する具体的な状況などについて自記式アンケート（無記名）を行っ

1 長崎大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻

2 愛知教育大学

た。実施時期は1992年3月から5月であった。

回答のあった1,113名を分析対象とした。その職種は、事務、販売、技能系など様々で、自営や農業、パート労働者、学生、主婦なども含まれている。

自律神経系の不定愁訴に関しては、阿部ら³⁾がCMIを参考として選んだ43項目について調査した。このうち11項目以上訴えたものを「訴えの多い者」とした。

月経周期は日本産科婦人科学会に従い、周期25日～38日で周期日数の変動が6日以内の者を正常とした。

月経前と月経中の不調（月経前緊張症、月経困難症）に関しては、いくつかの症状の有無を尋ね、たとえいくつかの訴えがあっても、ふだんと変わらないものは「不調症状なし」とした。また、それらがつらいと感じるもの（我慢している）は「軽い不調」、薬などを使用したり寝込んだりすることがあるものを「重い不調」とした。

地域の区分は、長崎市内を中心として、その地理的条件の違いから、対象を五島、壱岐、対馬等の離島地区、長崎市内、諫早市、大村市、島原市等の長崎以外の市（離島を除く）、および郡部の4地区に分類して集計した。

Ⅲ 結果

全対象者1113名の平均年齢（±標準偏差）は37.5±9.2歳であった。表1に居住地域別対象者数と平均年齢を示した。離島地区の対象者数は148名で、平均年齢は39.8±10.0歳であった。長崎以外の市は対象者数198名、平均年齢39.9±9.8歳であり、郡部では、対象者数387名、平均年齢38.5±8.5歳であった。長崎市内は、対象者数380名、平均年齢34.2±9.3歳で、離島地区や長崎以外の市、および郡部の平均年齢に比べてやや低い傾向にあった。

年齢階層別でみると（表2）、長崎市内は20代以下が多く、その他の地域では40代以上

が多くなっていた。

全対象者のうち子供がある人の割合は74.9%で、長崎市内は58.6%と低くなっていた（表3）。

対象者の職業をみると、無職の者が26.3%で、すべての地域で7～8割の女性がなんらかの職業に従事していた。また、長崎市内では、自営・農業の人が少ない傾向にあった（表4）。

居住地域別の飲酒率と喫煙率を比較したものが表5、6である。

飲酒率では、長崎市内で「週1回以上飲む」と答えた人が25.7%、「月に1回以上飲む」と答えた人が24.3%あり、他の地域に較べて長崎市内の飲酒率は高くなっていた。

一方、喫煙率も、長崎市内は13.2%と、飲酒率と同様に高くなっていた。

居住地域別の身体の不調では、冷え性は長崎市内と長崎以外の市にやや多くなっていたが、全体としては統計学的な差異は認めなかった。自律神経系愁訴は離島や長崎市内に多くなっていた。過去1年間の医療機関受診では地域間に大差はみられなかった。また、月経前の不調においても地域間に大差はなかったが、月経中の不調は、ひどいものが長崎市内に多くなっていた。

以上の結果は、すべての年齢の対象者を含んだ分析であり、次に、対象者を25歳～44歳に限定して分析を行った（表7）。

全体としては、前述した全対象の分析結果と大差はみられず、月経中の不調は、ひどいものが長崎市にやや多くなっていた。

自律神経的な不定愁訴の43項目を居住地域別に比較したものが表8である。ほとんどの項目で地域ごとの有意な差はみられなかったが、「消化が悪くてこまる」や「よく下痢をする」は離島地区が最も多く、有意差がみられた。また、「疲れてぐったりする」は長崎市内で多くみられた。

月経前・月経中の不調について項目ごとに

長崎県内の女性の身体的不調に関する調査

表1 居住地域別対象者数と平均年齢(±標準偏差)

1) 離島地区	148名 (39.8±10.0歳)
2) 長崎市内	380名 (34.2±9.3歳)
3) 長崎以外の市	198名 (39.9±9.8歳)
4) 郡部	387名 (38.5±8.5歳)
<合計>	1113名 (37.5±9.2歳)

表2 年齢階層別人数

	20代以下	30代	40代以上	合計
1) 離島地区	25(16.9)	48(32.4)	75(50.7)	148(100.0)
2) 長崎市内	142(37.4)	102(26.8)	136(35.8)	380(100.0)
3) 長崎以外の市	34(17.2)	58(29.3)	106(53.5)	198(100.0)
4) 郡部	60(15.5)	146(37.7)	181(46.8)	387(100.0)
<合計>	261(23.5)	354(31.8)	498(44.7)	1113(100.0)

注) 数字は人数、()内は%を示す。

表3 子供がある人の割合

1) 離島地区	83.0% (n=147)
2) 長崎市内	58.6% (n=379)
3) 長崎以外の市	84.3% (n=197)
4) 郡部	83.2% (n=386)
<平均>	74.9% (n=1109)

注) 無回答 4

表4 対象者の職業

	常勤	自営・農業	パート	無職	合計
1) 離島地区	64(43.8)	32(21.9)	19(13.0)	31(21.2)	146(100.0)
2) 長崎市内	190(50.3)	31(8.2)	40(10.6)	117(31.0)	378(100.0)
3) 長崎以外の市	75(38.1)	32(16.2)	24(12.2)	66(33.5)	197(100.0)
4) 郡部	178(46.2)	76(19.7)	54(14.0)	77(20.0)	385(100.0)
<合計>	507(45.8)	171(15.5)	137(12.4)	291(26.3)	1106(100.0)

注) 無回答 7、数字は人数、()内は%を示す。

表5 居住地域別の飲酒率

	週1回以上	月1回以上	飲まない	合計
1) 離島地区	22(14.9)	18(12.2)	108(73.0)	148(100.0)
2) 長崎市内	97(25.7)	92(24.3)	189(50.0)	378(100.0)
3) 長崎以外の市	41(20.7)	30(15.2)	127(64.1)	198(100.0)
4) 郡部	77(20.2)	60(15.7)	245(64.1)	382(100.0)
<合計>	237(21.4)	200(18.1)	669(60.5)	1106(100.0)

注) 無回答 7、数字は人数、()内は%を示す。

比較した結果を表9,10に示した。月経前の不調および月経中の不調のいずれにおいてもほとんどの項目で地域ごとの有意な差はみられなかった。

表11は、冷え性の冷える場所について比較したものである。冷え性の「冷える感じる部位」では、長崎市内で足（足首より下）と答えたものが多く腰と答えたものが少なくなっているのに対して、離島では逆に腰と答えたものが多くなっており、やや地域差がみられた。

過去1年以内の医療機関受診を疾病別にみたのが表12である。ほとんどの項目で地域ご

との有意な差はみられなかった。

IV 考察

健康水準における地域格差の縮小を示した報告は多い^{4,6)}。一方、身体の不調の地域格差についての報告はほとんどない。

本研究は、長崎県内の健康婦人の身体的な不調を調査し、それらに地域格差が存在するかどうかを検討することをねらいとしている。

そこで、我々は、長崎市内を中心としてその地理的条件の違いから、対象を離島地区、長崎市内、長崎以外の市（離島を除く）、郡部の4地区に分類して比較検討した。また、

表6 居住地域別の喫煙率

	吸う	吸わない	合計
1) 離島地区	12(8.5)	130(91.5)	142(100.0)
2) 長崎市内	49(13.2)	332(86.8)	371(100.0)
3) 長崎以外の市	13(6.9)	176(93.1)	189(100.0)
4) 郡部	18(4.9)	350(95.1)	368(100.0)
<合計>	92(8.6)	978(91.4)	1070(100.0)

注) 無回答43、 数字は人数、()内は%を示す。

表7 居住地域別に見た身体的不調(25歳~44歳に限定して集計)

	離島地区	長崎市内	他の市部	群部	合計	(χ ² 検定)
a) 冷え性の有無	n= 92	n=243	n=106	n=271	n=712	
1) 冷え性でない	34(37.0)	83(34.2)	38(35.8)	100(36.9)	255(35.8)	p=0.920
2) 冬のみ冷える	33(35.9)	94(38.7)	36(34.0)	105(38.7)	268(37.6)	
3) 冬以外も冷える	25(27.2)	66(27.2)	32(30.2)	66(24.4)	189(26.5)	
b) 自律神経系愁訴	n= 88	n=242	n=114	n=271	n=715	
1) 少ない	65(73.9)	176(72.4)	93(81.6)	218(80.4)	552(77.2)	p=0.104
2) 多い(11/43以上)	23(26.1)	66(27.3)	21(18.4)	53(19.6)	163(22.8)	
c) 医療機関受診	n= 94	n=251	n=114	n=280	n=739	
1) なし	74(78.7)	202(80.5)	98(86.0)	233(79.6)	597(80.8)	p=0.479
2) あり(過去1年間)	20(21.3)	49(19.5)	16(14.0)	57(20.4)	142(19.2)	
d) 月経前の不調	n= 82	n=222	n=110	n=245	n=659	
1) ひどい(休む・薬)	5(6.1)	15(6.8)	3(2.7)	19(7.8)	42(6.4)	p=0.431
2) 軽い(我慢できる)	13(15.9)	31(14.0)	17(15.5)	25(10.2)	86(13.1)	
3) ない、普段と同じ	64(78.0)	176(79.3)	90(81.8)	201(82.0)	531(80.6)	
e) 月経中の不調	n= 84	n=229	n=110	n=252	n=675	
1) ひどい(休む・薬)	13(15.5)	52(22.7)	17(15.5)	40(15.9)	122(18.1)	p=0.022*
2) 軽い(我慢できる)	16(19.0)	38(16.6)	23(20.9)	26(10.3)	103(15.3)	
3) ない、普段と同じ	55(65.5)	139(60.7)	70(63.6)	186(73.8)	450(66.7)	

注) *:p<0.05、 数字は人数、()内は%を示す。

長崎県内の女性の身体的不調に関する調査

表8 自律神経的な不定愁訴43項目の居住地地域別集計 (25歳~44歳に限定して集計)

項目	離島地区	長崎市内	他の市部	群部	p値 (χ ² 検定)
	n = 93	n = 250	n = 114	n = 280	
1) 感じる	7(7.5)	6(2.4)	4(3.5)	15(5.4)	0.144
2) 感じる	17(18.3)	60(24.1)	23(20.2)	72(25.7)	0.404
3) 感じる	11(12.1)	44(17.7)	15(13.2)	41(14.7)	0.515
4) 感じる	18(19.4)	39(15.6)	15(13.2)	35(12.5)	0.381
5) 打つ	2(2.2)	14(5.6)	8(7.0)	13(4.6)	0.423
6) 打つ	6(6.5)	15(6.0)	4(3.5)	20(7.1)	0.597
7) 打つ	20(21.5)	41(16.3)	13(11.4)	42(15.0)	0.248
8) 打つ	3(3.2)	3(1.2)	8(7.0)	6(2.1)	0.014*
9) 打つ	11(11.8)	31(12.4)	13(11.4)	2(0.8)	0.993
10) 打つ	7(7.5)	27(10.8)	7(6.1)	32(11.4)	0.342
11) 打つ	4(4.3)	2(0.8)	1(0.9)	3(1.1)	0.072
12) 打つ	12(12.9)	28(11.2)	7(6.1)	32(11.5)	0.367
13) 打つ	18(19.4)	43(17.1)	17(14.9)	37(13.2)	0.442
14) 打つ	14(15.1)	20(8.0)	8(7.0)	16(5.7)	0.035*
15) 打つ	12(12.9)	21(8.4)	6(5.3)	19(6.8)	0.185
16) 打つ	17(18.3)	37(14.8)	19(16.7)	39(13.9)	0.741
17) 打つ	15(16.1)	28(11.2)	11(9.7)	14(5.0)	0.006**
18) 打つ	36(39.1)	93(37.1)	32(28.1)	82(29.3)	0.093
19) 打つ	68(73.1)	188(75.3)	74(64.9)	190(67.7)	0.121
20) 打つ	38(40.9)	89(35.5)	35(30.7)	97(34.6)	0.502
21) 打つ	23(24.7)	52(20.7)	26(22.8)	53(18.9)	0.629
22) 打つ	24(25.8)	88(35.1)	33(29.0)	83(29.6)	0.312
23) 打つ	15(16.1)	50(19.9)	14(12.3)	42(15.0)	0.253
24) 打つ	2(2.2)	12(4.8)	2(1.8)	6(2.1)	0.231
25) 打つ	10(10.8)	27(10.8)	11(9.7)	25(8.9)	0.900
26) 打つ	23(24.7)	49(19.5)	13(11.4)	53(18.9)	0.096
27) 打つ	14(15.1)	26(10.4)	11(9.7)	35(12.5)	0.555
28) 打つ	7(7.5)	16(6.4)	5(4.4)	16(5.7)	0.798
29) 打つ	13(14.1)	24(9.6)	14(12.3)	18(6.4)	0.091
30) 打つ	11(11.8)	20(8.0)	10(8.8)	31(11.1)	0.566
31) 打つ	6(6.5)	23(9.2)	5(4.4)	20(7.1)	0.421
32) 打つ	13(14.1)	47(18.7)	21(18.4)	43(15.4)	0.624
33) 打つ	7(7.5)	18(7.2)	7(6.1)	29(10.4)	0.424
34) 打つ	10(10.8)	32(12.8)	7(6.1)	33(11.8)	0.298
35) 打つ	43(46.2)	135(54.2)	44(38.6)	139(49.6)	0.047*
36) 打つ	31(33.0)	66(26.3)	32(28.1)	82(29.4)	0.652
37) 打つ	27(28.7)	75(29.9)	29(25.4)	65(23.3)	0.357
38) 打つ	17(18.1)	43(17.3)	18(15.8)	35(12.5)	0.390
39) 打つ	15(16.0)	33(13.2)	14(12.3)	35(12.5)	0.843
40) 打つ	5(5.3)	4(1.6)	1(0.9)	13(4.7)	0.058
41) 打つ	35(37.2)	97(38.8)	38(33.3)	88(31.4)	0.321
42) 打つ	4(4.3)	11(4.4)	4(3.5)	7(2.5)	0.666
43) 打つ	39(41.5)	78(31.2)	32(28.1)	84(29.9)	0.150

注) *:p<0.05、 **:p<0.01、 数字は人数、 () 内は%を示す。

表9 月経前の不調18項目の居住地地域別集計 (25歳~44歳に限定して集計)

項目	離島地区	長崎市内	他の市部	群部	p値 (χ ² 検定)
	n = 90	n = 242	n = 111	n = 271	
1) 頭痛、頭が重い	13(14.4)	41(16.9)	19(17.1)	51(18.8)	0.810
2) 頭痛、頭が重い	3(3.3)	9(3.7)	1(0.9)	7(2.6)	0.502
3) 頭痛、頭が重い	14(15.6)	49(20.3)	13(11.7)	48(17.7)	0.252
4) 乳房が張る、痛む	49(54.4)	137(56.6)	54(48.7)	153(56.5)	0.513
5) お腹が張る	28(31.1)	79(32.6)	35(31.5)	80(29.5)	0.898
6) 胃が痛む	7(7.8)	8(3.3)	7(6.3)	10(3.7)	0.229
7) 下腹部が痛む	27(30.0)	64(26.5)	24(21.6)	82(30.3)	0.340
8) 下痢になる	15(16.7)	22(9.1)	10(9.0)	19(7.0)	0.057
9) 便秘になる	9(10.0)	27(11.2)	11(9.9)	29(10.7)	0.982
10) 食欲が増す	6(6.7)	36(14.9)	7(6.3)	22(8.1)	0.016*
11) 食欲がなくなる	4(4.4)	8(3.3)	1(0.9)	4(1.5)	0.209
12) 身体がむくむ	7(7.8)	15(6.2)	4(3.6)	12(4.4)	0.472
13) 手や足の関節が痛む	4(4.4)	8(3.3)	2(1.8)	7(2.6)	0.695
14) 不機嫌、眠くない	38(42.2)	105(43.4)	43(38.7)	104(38.4)	0.662
15) やたら眠くなる	7(7.8)	42(17.4)	15(13.5)	40(14.8)	0.176
16) 眠れなくなる	1(1.1)	6(2.5)	2(1.8)	4(1.5)	0.797
17) 疲れやすくなる	12(13.3)	31(12.8)	18(16.2)	35(12.9)	0.831
18) 考えがまとまらない	6(6.7)	8(3.3)	5(4.5)	13(4.8)	0.606

注) *:p<0.05、 数字は人数、 () 内は%を示す。

表10 月経中の不調18項目の居住地域別集計 (25歳~44歳に限定して集計)

項目	離島地区	長崎市内	他の市部	群部	p値 (χ^2 検定)
	n = 90	n = 242	n = 111	n = 269	
1) 頭痛、頭が重い	7(7.8)	28(11.6)	13(11.7)	27(10.0)	0.746
2) めまいがおきる	6(6.7)	14(5.8)	7(6.3)	12(4.5)	0.809
3) にきびなどが増える	3(3.3)	14(5.8)	5(4.5)	13(4.8)	0.822
4) 乳房が張る、痛む	5(5.6)	20(8.3)	6(5.4)	12(4.5)	0.334
5) お腹が張る	12(13.3)	53(21.9)	25(22.5)	51(19.0)	0.299
6) 胃が痛む	0(0.0)	9(3.7)	4(3.6)	3(1.1)	0.073
7) 下腹部が痛む	35(38.9)	104(43.0)	46(41.4)	88(32.7)	0.100
8) 下痢になる	15(16.7)	48(19.8)	18(16.2)	42(15.6)	0.630
9) 便秘になる	3(3.3)	14(5.8)	2(1.8)	6(2.2)	0.114
10) 食欲が増す	1(1.1)	9(3.7)	1(0.9)	4(1.5)	0.190
11) 食欲がなくなる	5(5.6)	24(9.9)	4(3.6)	17(6.3)	0.134
12) 身体がむくむ	5(5.6)	14(5.8)	2(1.8)	7(2.6)	0.144
13) 手や足の関節が痛む	1(1.1)	40(16.5)	0(0.0)	5(1.9)	0.544
14) 不機嫌、いらいら	10(11.1)	47(19.4)	19(17.1)	50(18.6)	0.342
15) やたら眠くなる	15(16.7)	44(18.2)	20(18.0)	39(14.5)	0.693
16) 眠れなくなる	2(2.2)	5(2.1)	2(1.8)	4(1.5)	0.954
17) 疲れやすくなる	12(13.3)	50(20.7)	29(26.1)	30(11.2)	0.010*
18) 考えがまとまらない	5(5.6)	13(5.4)	8(7.2)	15(5.6)	0.915

注) *:p<0.05、 数字は人数、()内は%を示す。

表11 冷え症者の冷える場所(複数回答)(25歳~44歳の冷え症者に限定して集計)

項目	離島地区	長崎市内	他の市部	群部	p値 (χ^2 検定)
	n = 59	n = 163	n = 70	n = 173	
1) 手	23(39.0)	82(50.3)	25(35.7)	74(42.8)	0.152
2) 腕	2(3.4)	4(2.5)	1(1.4)	3(1.7)	0.847
3) 足(足首より下)	46(78.0)	152(93.3)	62(88.6)	150(86.7)	0.016*
4) 脚(足首より上)	12(20.3)	17(10.4)	8(11.4)	15(8.7)	0.104
5) 腹	2(3.4)	11(6.8)	4(5.7)	7(4.1)	0.639
6) 腰	31(52.5)	41(25.2)	24(34.3)	56(32.4)	0.018*
7) 肩	8(13.6)	26(16.0)	15(21.4)	27(15.6)	0.629
8) その他	1(1.7)	2(1.2)	0(0.0)	4(2.3)	0.590

注) *:p<0.05、 数字は人数、()内は%を示す。

表12 過去1年以内の医療機関受診状況(複数回答)(25歳~44歳に限定して集計)

項目	離島地区	長崎市内	他の市部	群部	p値 (χ^2 検定)
	n = 94	n = 250	n = 114	n = 280	
1) 心臓病	2(2.1)	3(1.2)	1(0.9)	1(0.4)	0.458
2) 糖尿病	0(0.0)	1(0.4)	0(0.0)	3(1.1)	0.443
3) 高血圧	3(3.2)	6(2.4)	1(0.9)	6(2.1)	0.702
4) 甲状腺の病気	2(2.1)	3(1.2)	0(0.0)	6(2.1)	0.401
5) 自律神経失調症	1(1.1)	4(1.6)	3(2.6)	8(2.9)	0.644
6) 産婦人科の病気	9(9.6)	16(6.4)	6(5.3)	17(6.1)	0.607
7) その他	8(8.5)	19(7.6)	5(4.4)	21(7.5)	0.641

注) 数字は人数、()内は%を示す。

婦人の月経困難症や不定愁訴と年齢との関係については多くの報告^{3,6)}があり、我々の研究⁷⁾でも同様の結果を得ていることから、対象を集団の中心的な年齢層(25歳~44歳)に限定した。

その結果、長崎市内に自律神経的な愁訴と

月経中の不調が多く、離島地区に自律神経的な愁訴が多いという特徴がみられた。また、これらの自律神経的な愁訴の内容を見ると、離島地区の愁訴が「消化が悪くてこまる」「よく下痢をする」といった胃腸系愁訴であるのに対して、長崎市内のそれは「疲れてぐっ

たりする」という全身性愁訴であり、両者の訴えには質的な差がみられた。これには、社会、経済的な生活環境の相違が関与している可能性もあり、今後検討していく予定である。

以上の結果より、長崎県内の女性の身体的不調においては、月経中の不調と自律神経的な愁訴で地域格差が生じていると考えられた。

文 献

- 1) 流石ゆり子, 西村知子, 古田真司, 稲垣ふみえ, 大石和代, 斉藤早苗, 北島正子: 労働と月経異常(会議録). 日本公衆衛生雑誌, 37(10) 特別付録: 584, 1990.
- 2) 大石和代, 斉藤早苗, 鈴木ふみえ, 流石ゆり子, 北島正子, 古田加代子, 古田真司: 20代女性の労働と月経異常(会議録). 母性衛生, 32(4): 494-495, 1991.
- 3) 阿部達夫, 筒井味春: 自律神経失調症-不定愁訴症候群を中心として-, 金原出版株式会社, 1968.
- 4) 加納克己: 我が国における健康水準の地域格差の推移に関する研究-変動係数(C. V.)を用いた都道府県レベルの分析-. 民族衛生, 53(1): 38-45, 1987.
- 5) 山本幹夫, 山岡和枝: 健康状態の地域格差. 公衆衛生, 52(11): 725-729, 1988.
- 6) 島尻貞子, 平良恵子, 仲村美津江, 竹中静広, 河野伸造: 月経随伴症状の日内変化-勤労婦人・大学生・思春期女子間での比較-. 母性衛生, 29(1): 66-72, 1988.
- 7) 北島正子, 古田真司, 天野敦子, 古田加代子, 大石和代, 加藤奈智子, 松岡知子, 斉藤早苗, 鈴木ふみえ, 流石ゆり子, 宮尾克: 女性の身体不調と不定愁訴に関する検討-20代, 30代を中心に-(会議録). 日本公衆衛生雑誌, 39(10)特別付録: 136, 1992.

(1992年12月28日受理)

Invenstigation on physical problems
in women in Nagasaki prefecture
— (1) Regional differences —

Kazuyo OISHI¹, Kazuko MIYAICHI¹, Nachiko KATO¹ and
Shinji FURUTA²

1 Advanced course for Midwifery, Associate degree of Nagasaki University

2 Aichi University of Education

Abstract We investigated recognition of “feeling of cold” and unidentified clinical problems due mainly to autonomic symptoms as well as those accompanying the menstrual cycle in 1200 women mostly in their 20s, 30s, and 40s, using a self-entering questionnaire (unsigned). The results were compared by each region, namely, remote islands, Nagasaki city, cities other than Nagasaki, and rural districts, and the following results were obtained. In remote islands, complaints about autonomic symptoms prevailed, while in Nagasaki city both complaints about autonomic symptoms and problems during menstrual period were high. Specifically, the autonomic symptoms were gastro-intestinal symptoms in the remote islands but whole body symptoms in Nagasaki city, indicating a difference between the two regions.

Bull. Sch. Allied Med. Sci., Nagasaki Univ. 6 : 1-8, 1992